

## ウィズライフ別府 構

## 地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	3	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部 評価 1	<b>地域密着型サービスとしての理念【外部評価】</b> 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	住み慣れた地域の中で地域の一員としてお互いに得意とすることを生かしながら、ごく当たり前の日常を過ごせるように企業理念・グループホーム理念を挙げている。また介護者としての心得を挙げている。	0	
		2 外部 評価 2	<b>理念の共有と日々の取り組み【外部評価】</b> 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月1度のミーティング時に企業理念の唱和、毎日出勤者全員で介護者としての心得を唱和することでお互いに確認し合い、また共通の意識を持つことで理念を基にしたケアの提供へと取り組んでいる	0	
		3	<b>家族や地域への理念の浸透</b> 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	言葉で思いを伝えるのではなく実際に地域行事に入居者と共に参加したり、地域ボランティアの受け入れを通しての実際にホームを見ていただいたりと行動と姿勢で示す意識を持って取り組んでいる	0	
		2	地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	1	
		4	<b>隣近所とのつきあい</b> 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域行事等に参加した後は御挨拶へ伺ったり買い物の際には積極的な挨拶を心がけている。また近隣の方がホーム周囲の掃除や畑の手入れへと来られたりと気軽に寄り添われるような付き合いに努めている	0	
	5 外部 評価 3	<b>地域とのつきあい【外部評価・重点】</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域清掃や廃品回収、町内会の校区運動会やお花見、バスハイク等地域行事に積極的に参加し交流を深めるように努めている	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 合との	6	<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域行事に参加することで地域の独居高齢者との繋がりを持ち、ホームでの行事にはご招待して一緒に楽しんだりと交流を深めているが、その交流を基にして役に立てることはないか・・・と取り組みにまでは現在至っていない。	1	地域の特色を把握することに努めながら職員全員で役に立つことがないのかをミーティング時に話し合い、行動へと移すよう取り組む
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	2	
		7 外部 評価 4	<b>評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】</b> 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ミーティング時には外部評価の意義・目的を理解できるように話し合い、前回評価での反省点及び改善箇所がホームの長所へとなるように取り組んでいる	0	
		8 外部 評価 5	<b>運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の開催にてホームの活動報告や現在の問題点を挙げてそれに対して御意見やアドバイスをいただき、その御意見やアドバイスをケアへと出来る限り活かしサービス向上に努めている	0	
		9 外部 評価 6	<b>市町村との連携【外部評価・重点】</b> 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	区役所へ赴き報告書の提出を行ったり、各窓口へ電話で確認、また感染症への勉強会へと参加している。どんたく会場へ行ったりして市町村との交流を図るよう努めサービス向上に取り組んでいる	0	
		10 外部 評価 7	<b>権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】</b> 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修等への積極的な参加を通して権利擁護・成年後見制度についての理解に努めている。またそこの学びを勉強会を開催して職員へ報告し、その事業の理解に努めている	1	研修にて学んだことを実際に活用できるようにまずは全職員への事業の意義、理解するように努める
		11	<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	月1度のミーティング時に虐待・身体抑制委員会を開催し職員全員で意見を出し合い未然防止へと努めている	1	虐待へと至らない為に介護職員の心身ストレス軽減を図れるような職場環境の整備に努める

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく 運営	理念を 実践す るた めの 体制	12	<b>契約に関する説明と納得</b> 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前に御本人に体験入居をしていただき実際にホームの雰囲気を感じていただき、契約前にはホームの役割や理念を基にした地域や医療との関わり等を御説明して御理解をいただいている	0	
		13	<b>運営に関する利用者意見の反映</b> 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や半年に1度家族面談、年に1度家族会を開催し、御意見やご不満を伺いそれを記録へと残しミーティング時に話し合い解決、運営への反映へと繋がるようにしている	0	
		14 外部 評価 8	<b>家族等への報告【外部評価・重点】</b> 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月介護職員・計画作成担当者が主治医の御意見を踏まえたその月の生活状況や健康状態等の医療面、ケアプランの評価等を記載した通信を作成し郵送にてお伝えしている。また状況に応じて電話にて生活状況をお伝えしたりご家族来訪時には介護記録等を閲覧できるようにしている	0	
		15 外部 評価 9	<b>運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】</b> 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	半年に1度の家族面談や年1度の家族会、運営推進会議やアンケートの実施を行い、記録に残しミーティング時に話し合い反省点や改善点を挙げて解決、運営に結びつくように努めている	0	
		16	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年に2度の職員との個人面談の実施。また月1度のミーティング時に現場職員からの意見や提案を出し合う場を設けている。そのようなことを通してスタッフに合った人事・研修制度の確立に努めている	0	
		17	<b>柔軟な対応に向けた勤務調整</b> 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	行事時には職員日中4名以上を確保できるようシフト作成を行い、各ユニット間で状況に応じて相互で協力・連携を図っている。緊急時には職員緊急出勤等にて対応を行っている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4	18	<b>職員の異動等による影響への配慮【外部評価】</b> 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職を防ぐように仕事を楽しめる働きやすい職場環境を心がけている。また利用者へダメージを防ぐように日々の1つ1つのケアを大切にすることで安心へと繋がるように努めている	0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	0	
	5	19	<b>人権の尊重【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	年齢・性別・経験や資格の有無は問わずに面接を実施している。また事前にボランティアとして職場の雰囲気を実際に体験していただき採用に至っている。職員個々の個性を大切に長所を活かせるような職場環境、職員の権利を保証し尊重するように努めている	0	
		20	<b>人権教育・啓発活動【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	人権の尊重を含め月1度の事故対策・リスクマネジメント委員会、虐待・身体拘束委員会、感染症対策委員会の開催を通してお互いに学習しながら入居者本位のケアを望めるように取り組んでいる	0	
		21	<b>職員を育てる取り組み【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間計画を立案し積極的な研修への参加や内部での各事業所毎月1度の勉強会の開催、また事業所間での交換研修等を行い研修の充実を図っている	0	
		22	<b>同業者との交流を通じた向上【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	実践者研修の受け入れやグループホーム協議会の研修にて情報交換や勉強会、相談を行ったりすることでネットワーク作りサービス向上に努めている。	0	
		23	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ミーティングや日々の職員間でのコミュニケーションを通しての意見交換、心身状態の把握に努め、また出来る限りの希望休を反映するシフト作りやリフレッシュを兼ねた他事業所への研修等を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理者と職員との個人面談の実施や自己評価表の作成、研修参加や地域への取り組み等を通しての人事規定を確立している。また個々の能力開発に取り組み職員の育成を行いながら職員の向上心を持つように努めている	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1	相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	0	
	1	25	<b>初期に築く本人との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前の体験入居を通しての御本人の不安や希望等を探り、また日常会話を通しての傾聴、受容、共感的な態度で接しケアプランへと反映しながら信頼関係の構築を心掛けている体験入居前にも事前にご本人との面談が行えるよう努めている	0	
		26	<b>初期に築く家族との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	御本人の生活歴や現在の心境、それに対する御家族の心情等を時間をかけて伺いながら心身負担の軽減を心掛け、ホームの理念を踏まえながらのケアの姿勢をお伝えすると共に支えあっているように努めている	0	
		27	<b>初期対応の見極めと支援</b> 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現在の心身状況、それを取り巻く環境の把握を行いながら御本人の不安軽減や希望の把握に努め、それらを踏まえて御本人が今求めているサービスの利用を含めた対応に努めている	0	
		28	<b>馴染みながらのサービス利用【外部評価】</b> 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入居を通してのホームの雰囲気や食事、生活等に馴染んでいただいている。安心して楽しく暮らして頂ける様に御家族や職種間での連携を大事にしながら、馴染みの家具や装飾品を用意して御本人の個性の尊重しての生活支援を心掛けている	0	
		15	外部評価			
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)				自己評価6項目・外部評価1項目	0	
	29	<b>本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ホームの理念を念頭に置きながら入居者との日頃の会話や関わりを通じて日々学んでいる。そのようなふれあいを通じてさまざまな感情を共有し、相互に支えあい感謝できる関係作りを目指している	0		
	16	外部評価				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	<b>本人を共に支えあう家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	定期的な家族面談や家族会、面会時には意見交換や助言をいただきながら共に御本人の支えとなれるように努めている。また行事には御家族にも参加を働きかけ一緒になって同じ時間を共有できるように努めている	0	
		31	<b>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</b> これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	御本人のこれまでの生活歴や御家族との関係、お互いの気持ちや思いを感じ取れるようにふれあいを大切にしながら同じ時間を過ごしてよりよい関係が気付けるよう心掛けている	0	
		32	<b>馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御本人や御家族から知り得た情報や普段の関わりの中で大切にされている事や大切な人と連絡を取ったりまた来訪できるように支援に努めている	0	
		33	<b>利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	孤独感や不安感を抱かないようお互いの関わりが保てる席の配慮やレクリエーションを行いながら関係作り、支援に努めている	0	
		34	<b>関係を断ち切らない取り組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	暑中見舞いや年賀状での御挨拶を行ったり、御家族からもホームへ来訪されたりと関係を大切にしている	0	
		その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	1	35 外部 評価 17	<b>思いや意向の把握【外部評価】</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その方の希望や思いをケアプランへと繋げて支援できるかを御本人や御家族からの日々の会話や表情、仕草から感じて把握できるようなアセスメントを心掛けている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	<b>これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前の御家族からの情報提供により家族構成や生活歴、御本人を取り巻く環境や社会資源を伺い把握に努めているまた日常で知り得た情報は記録へと残し情報共有に努めている	0	
		37	<b>暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	記録物の確認や口頭での情報交換、申し送りでの状態把握に努めている。また毎月カンファレンスの実施やその月の生活状況や健康状態、ケアプラン評価をまとめた通信の作成を行っている	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価18	<b>チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日常的な御本人や御家族からの意見を伺い、毎月のカンファレンス、3.6ヶ月毎のモニタリング、日々のアセスメント、家族面談、主治医のアドバイス等で楽しみや希望、生きがいや笑顔へと結び付くような作成に努めている。	0	
		39 外部評価19	<b>現状に即した介護計画の見直し【外部評価】</b> 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画期間に応じて見直しを行っている。また心身状態において変化があったり緊急時には御本人、御家族、関係機関との意見交換を行って連携をとりながら見直し、新規に作成をおこなっている	0	
		40	<b>個別の記録と実践への反映</b> 日々様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常を通しての関わりの中でその時の心情や小さな気づき、実践した事に対する反応や結果を記録に残している。また記録に残しやすくケアプランへと反映しやすい書式を常時職員同士で提案し合っている。そこで知り得た情報をカンファレンス時に確認し、意見交換を行い活かせるようにしている	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	<b>事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】</b> 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	御家族との外出や病院受診、レクリエーション等では会社が所有している車で出来る限り送迎を行い個々に添った生活支援をしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価 10項目・外部評価 2項目	0	
		42	<b>地域資源との協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	御本人に合った地域行事への参加に取り組み、また消防訓練を年2回、救命講習を年1回実施し入居者や御家族へも参加していただいている	0	
	4		本人がより良く暮らし続けるためのケアマネジメント			
		43	<b>他のサービスの活用支援</b> 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	御本人の意志や希望に応じてのながら御家族へ同意をいただいて、自費での訪問マッサージなどを行っている	0	
		44	<b>地域包括支援センターとの協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今後の必要性を考えて管理者が定期的に窓口へと同じネットワークを構築出来るよう努めている。運営推進委員会参加者のメンバーである	0	
		45	<b>かかりつけ医の受診支援【外部評価】</b> 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入院時にかかりつけ医の有無の確認を行い、訪問診療医を主治医に希望されたり専門医への通院を希望される方もいる。主治医と24時間連絡が取れる体制をとり、医師・看護師の往診等により健康状態の把握・維持に努めている。また毎週1回歯科医師や歯科衛生士にて口腔ケアを受けている方もいる。	0	
		46	<b>認知症の専門医等の受診支援</b> 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	医療連携を結んでいる医師より医療面を通しての助言や診療を受け、また職員からも相談事項がある場合は往診時等に相談、助言を受け支援へと繋げている。	0	
	47	<b>看護職との協働</b> 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	日常生活においての留意点を伺い看護の視点からの健康維持、支援へと努めている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	<b>早期退院に向けた医療機関との協働</b> 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	早期退院が出来るように、また今後の医療面や介護においての支援等について御家族や病院、主治医との情報交換を行っている。入院中は出来る限り病院へ伺い現状の把握や精神的支えとなれるように努めている	0	
		49 外部 評価 22	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した時の対応や看取りについて「重要事項説明書」に記載。また必要に応じて御本人または御家族、主治医、管理者や職員を交えて話し合いを行い、ご家族より看取りに関する同意書をいただき共有している。	0	
		50	<b>重度化や終末期に向けたチームでの支援</b> 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医療行為等を含めたホームとしての出来る事・出来ない事を明確にし、医療等の各機関との連携を密に図り多方面からの視野を持って取り組み、定期的に話し合いを設け情報共有・今後の方針を確認し御理解、納得を得て状況に応じて同意書を得ている。	0	
		51	<b>住み替え時の協働によるダメージの防止</b> 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ホームから在宅へと戻られた方へは訪問介護事業所等の各種機関への情報提供を行ったり、また心身状況の変化により医療面でのサポートが必要となった方へは御家族や関係機関と話し合いを行いながら本人にとって精神的な負担を軽減出来るように努めた。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	4	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	3	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0		
		52 外部 評価 23	<b>プライバシーの確保の徹底【外部評価】</b> 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	毎日出勤職員にて介護の心得を唱和したり、月に1度のミーティング時に職員全員でプライバシーを配慮しながらのケア等の確認を行っている。また個人情報の守秘義務については採用の新人研修にてその重要性を確認し、理解している。	0	
53	<b>利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日常生活を営む上でさまざまな場面に、本人の心身の状態を把握しながら選択の機会を作り、またその個々の選択の自由を尊重する支援に努めている	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	<b>日々のその人らしい暮らし【外部評価】</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常時入居者1人1人との会話を大切にしながら、何かアクションを起こす前にはその都度意思確認を行っている。また些細な言動や表情の気付きも職員全員で情報の共有を行いその方が何を望まれているのか、それに添った支援を行うように心掛けている	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		55	<b>身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	毎日同じ服装にならないように注意しながら行っている。希望があれば馴染みの理美容室へといたり、外出前にはお化粧を一緒に行ったり毎日お洒落を楽しむように努めている	0	
		56 外部評価 25	<b>食事を楽しむことのできる支援【外部評価】</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その日、その時の食べたい物を尋ねながら買い物へ一緒に出掛けたり、一緒に調理をしたりと何事にも一緒に行うように努めている。また個々の咀嚼や嚥下状態を考慮しながら食事形態を考えたり、テーブルの高さや食器の大きさ、重さ、持ちやすさ等考慮している	0	
		57	<b>本人の嗜好の支援</b> 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	御本人が希望される飲み物やおやつを一緒に行き買いに出掛けたり、1人1人の好みを本人や御家族に何気ない会話などを通して把握に努めている	0	
		58	<b>気持ちよい排泄の支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄委員を設け、おむつを使用される方の1日の使用枚数を記録に残し、職員同士で情報交換しあい、おむつ使用枚数を軽減できるよう取り組んでいる。	0	
		59 外部評価 26	<b>入浴を楽しむことができる支援【外部評価】</b> 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回の入浴支援を意識しながら昼夜時間問わずに1人1人の希望に添った入浴支援に努めている。	1	清拭や足浴等を活用しながら心身爽快感や保清に努める。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	1人1人へどのような支援をすれば安心、安楽に安眠へと繋がるかを日常の生活ペースを観察しながら個別に対応している。心身の状態も考慮しながら休息していただくよう支援に努めている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部評価 27	<b>役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個別の生活歴や今現在の能力の把握しながらそれぞれに合ったケアを行っている。食事作りや買い物等生活の中でそれぞれ役割を持っていただき充実感が得られるように工夫している	0	
		62	<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	全入居者がお金の所持をする事は出来ないが、御家族のご理解・御協力の下お小遣いを所持されて買い物際にはそこから支払いをしていただいたりと好きなものを好きなときに購入したり出来るように支援に努めている	0	
		63 外部評価 28	<b>日常的な外出支援【外部評価】</b> 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎週末には御家族の自宅へと外泊されたり、また買い物や散歩等本人の希望を確認しながら予定を立て毎日行えるように心掛けている。	0	
		64	<b>普段行けない場所への外出支援</b> 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個々の希望を普段のコミュニケーション等で確認し毎月の行事計画を挙げてその人に合った外出ができる機会を作っている	0	
		65	<b>電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	何か品物が届いた際には電話をしていただいたり、友人から電話が来たら話を聞いていただいたり葉書を買に行き手紙を書いたり御家族や知人とのやり取りが行えるように支援している	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	<b>家族や馴染みの人の訪問支援</b> 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	気軽に来訪していただくように笑顔での挨拶やホームでの生活を盛り込んだ会話を行うように心掛けている。またその際にはホームでの行事などへの参加の呼びかけなどもおこなっている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	1	
		67	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月1回身体拘束・抑制廃止委員会を開催し職員同士で日常のケアにおいて課題を挙げてそれに対する対策対応を確認し合っている。	1	身体拘束や抑制へとならないように職員の心身のケアを行う	
		68	<b>鍵をかけないケアの実践【外部評価】</b> 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は防犯目的にて玄関施錠は行っており、入居者も就寝時には居室の施錠をされる方もいるが、それ以外日中などにおいては鍵は掛けずに支援している	0		
		69	<b>利用者の安全確認</b> 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	9時・18時にはさり気ない配慮を心掛けながら職員が入居者1人1人の在所確認を行ったり、外出や行事時には適宜人数確認をおこなっている	0		
		70	<b>注意の必要な物品の保管・管理</b> 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者の生活や自立支援を考慮して、必要物品やリスクの高い物品などの管理方法について考え、設備委員を中心に状況に応じて環境設備の改善や工夫を行いながら危険防止に注意を払っている。	0		
		71	<b>事故防止のための取り組み</b> 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	危険へと繋がるような事柄は色を変えて記録へ残し改善や工夫を行ったり、災害や入居者単独での外出等の緊急時の対応マニュアルを作成している。また消防署のご協力の下で避難訓練や消火器訓練を定期的実施している	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署の御協力の下で心肺蘇生やAED使用方法の訓練を定期的実施し緊急時に冷静な対応が行えるように確認している	0	
		73 外部 評価 30	<b>災害対策【外部評価】</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災委員を設けて中心となつての災害や緊急時の避難方法の訓練の実施を行ったり、また校区での防災訓練へも御入居者と職員で参加したり、自治会長や地域防災委員等、地域の方の協力を得て設備の徹底が出来ている	0	
		74	<b>リスク対応に関する家族等との話し合い</b> 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居者の心身状態の把握、それによる日常生活において起こり得るリスクを意識し、それに対する対応策等を面会時や家族面談時にお伝えし理解・協力を得られるように努めている	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	1	
		75	<b>体調変化の早期発見と対応</b> 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日提示にバイタル測定を行い健康状態の把握に努めている。何か異変時には冷静かつ迅速に医療機関へと報告し指示をいただいている。また日常生活において何か変化が見られれば必ず記録に残し、御家族へも些細なことでも報告するように努めている	0	
		76	<b>服薬支援</b> 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋は個別に分かりやすくファイリングし確認しやすく出来るようにしている。また服薬において変化がみられると記録に残し医療機関との連絡を行っている。	0	入居者1人1人の服薬状況、薬に関する知識を見につけるように取り組んでいく
		77	<b>便秘の予防と対応</b> 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	出来る限り薬には頼らずに自然排便ができるように繊維物や炭水化物など摂取出来るような食事面での支援や排泄時には腹部マッサージや腹圧がかかりやすいような姿勢を支援して	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	必要だと考えられる方へは毎食前後の唾液腺マッサージや口腔マッサージ、口腔ケアを行っているながら歯科医師・歯科衛生士との連携を取りながら口腔機能向上や保清に努めている	0		
		79	<b>栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1人1人のこれまでの生活歴や食生活を御本人や御家族から伺いながら食事へと繁栄出来るように努めている。また場合によっては水分摂取状況を把握するためのチェック表を活用したり個々に合った食事量や盛り付けの工夫を行いながら食事面での支援を心掛けている	0		
		80	<b>感染症予防</b> 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	月1回感染症対策委員会を開催し職員同士で日常を振り返っての感染症への意識を持ち、対応を確認している。職員や来訪者への手洗いうがいなど基本的なことを徹底し、また感染症に関しての研修の参加を通してそこで得た知識を全職員へ伝えるために勉強会を行っている。感染症マニュアルを作成して回覧している	0		
		81	<b>食材の管理</b> 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板は「肉・野菜用」等と区別して使用し、夜間は毎日調理器具を消毒している。また野菜や魚は毎日新鮮な物を配達していただいている	1	冷蔵庫の掃除や消毒などを定期的実施するように取り組む	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	1	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	1	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	<b>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</b> 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周囲には植木を置いたりプランターに花を植えたり畑には植物や野菜を育てたりと親しみを感じていただくように工夫に努めている	0		
		83	<b>居心地のよい共用空間づくり【外部評価】</b> 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ブラインドを設置して光の調節や温度の上昇を抑えるように行い、季節を感じれるような花を花瓶へと飾ったりして不快を感じないような工夫に努めている	1	屋内に置いても季節を感じて頂ける様な装飾の工夫を行う	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	<b>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者の意思を尊重しながら共有スペースにて過ごされたり、自室にて過ごされるような自由な環境や雰囲気大切にしている。またそのような事を通して仲の良い入居者同士で居室にて談笑されている	0		
		85 外部評価 33	<b>居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は御本人が昔から使い慣れた物品を使用しながら出来る限り環境の変化を感じないような工夫を心掛け、見える位置には御家族との写真やお手紙やメッセージカードなどを掲示して居心地良く過ごせるような空間作りを行っている	0		
		86	<b>換気・空調の配慮</b> 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	定期的な換気には気をつけて行い、職員は意識を持つように業務日誌にはその日の気温を記載するようにしている。また冬は湿度40%を維持出来るように加湿器や霧吹き等を活用しながら心掛けている	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	<b>身体機能を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の状態に応じて車椅子や椅子にはスポンジカバーを巻いたりテニスボールをはめて転倒防止に努めたり、テーブルの高さを調節したりと行っている。	0		
		88	<b>わかる力を活かした環境づくり</b> 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	御入居者の目線にてお手玉や折り紙や本を置いていつでも楽しめるような環境整備を心掛けている。料理においても料理が好きな方や出来る方の能力を十分に活かせるよう努めている	0		
89	<b>建物の外周りや空間の活用</b> 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	畑には植物や作物を育てて畑の手入れを楽しんだりガーデニングを行ったり、そこで育った物を見たり食べたりと楽しむように努めている	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	2		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	1	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。